

# 東京薬科大学新聞

# 1月25日

THE TOKYO YAKKADAIGAKU SHIMBUN

号外

©1988

東京薬科大学新聞会

発行所  
東京薬科大学新聞会  
会長 沖 和成

## 図書館 土曜日

### 七時五〇分までに

一月九日から、土曜日の図書館の開館時間が、午後五時までから午後七時五十分までに延長された。

以前より学生からの要望が強かったことと、昨年九月から実施された平日の延長が好評なことなどによるものである。

しかし実際には、延長された時間の利用者はそれほど多くなく、延長されたことがあ

まり生かされていないのが現実のようである。

まもなく試験シーズンに入ると利用者が増加してくると思われ、普段の日も大いに利用してほしいと思う。



## 新歓情報

六十三年度の新入生歓迎キヤンプが、四月一・二・三日に北野大学セミナーハウスで行われることに決まった。

現在新歓実行委員会では、週一回本部企画会を開き、各パート（研究室紹介・先生紹介・MAP・企画・上級生紹介）でそれぞれ話し合いを進め、原稿を作成している。こ

これらの原稿は製本されて、キヤンプ及びクラスオリエンテーション（E.S.）当日に新入生に配布される予定である。

また、各部門主催の新歓行事の準備も着々と進行中である。各部門の担当行事は、文化部門が歩け歩け大会、体育部門がマラソン大会、学術部門が由木オリエンティングと例年通りだが、同好会は高尾山ハイイクに代わって新企画を検討している。

## 各部門新執行へ PART II

新文化部門長  
杉浦 恒悟

よもや私が部門長になるとは思ってみなかったというのが今の感想である。しかし、そんな甘い事は言っちゃいけないからゴールに向かって全力疾走するのみ！

さて、今の時期になって“こんなクラブに入るんじゃないかなからずい”と思ってる人も少なかろうか。そういう時こそ自分が積極的にになって、自分が先頭に立って意気込みで乗り切つて下さい。必ず活路がある筈です。

話は変わりますが、我々文化部門のクラブはクラブ系に比べて体育系や学術系に比べ薄いのではないかと。このような傾向を打破する為にも部門スタッフ一同精一杯頑張りますので各部長の方々、宜しくお願いします。

最後に、どのような些細なことでもいいから意見や要望等を書いて下さい。

